

第2期栗東市障がい者基本計画 第4期栗東市障がい福祉計画 策定にかかる調査

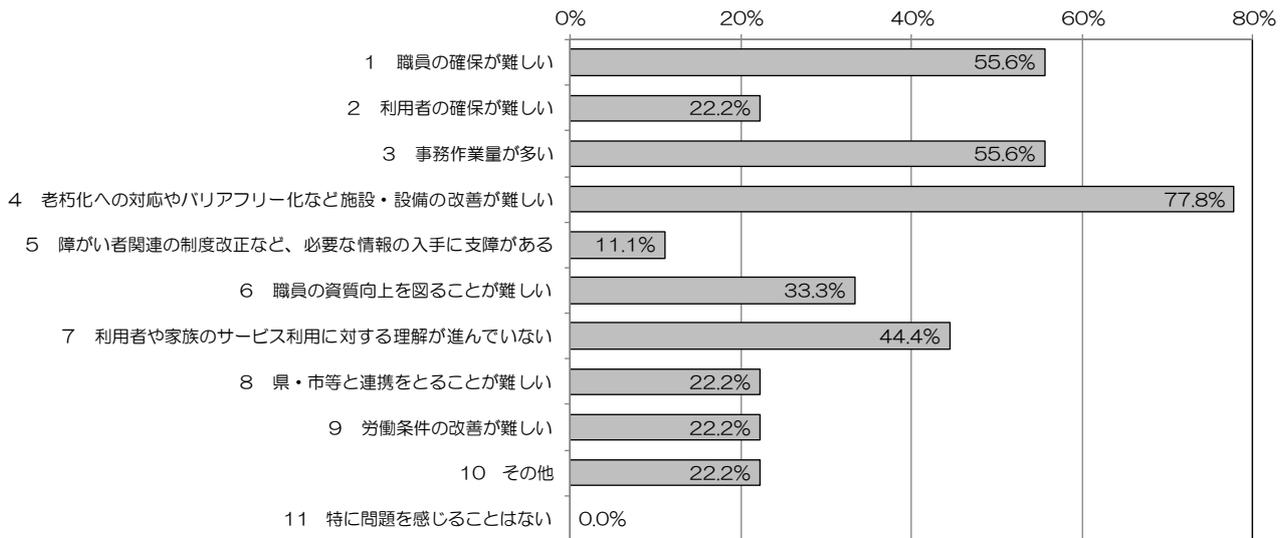
サービス提供事業所用

1. サービスの提供について

①今後新たに実施を予定しているサービス

具体的な内容のため省略

②円滑な事業運営を進めていく上で、問題を感じることはありますか。

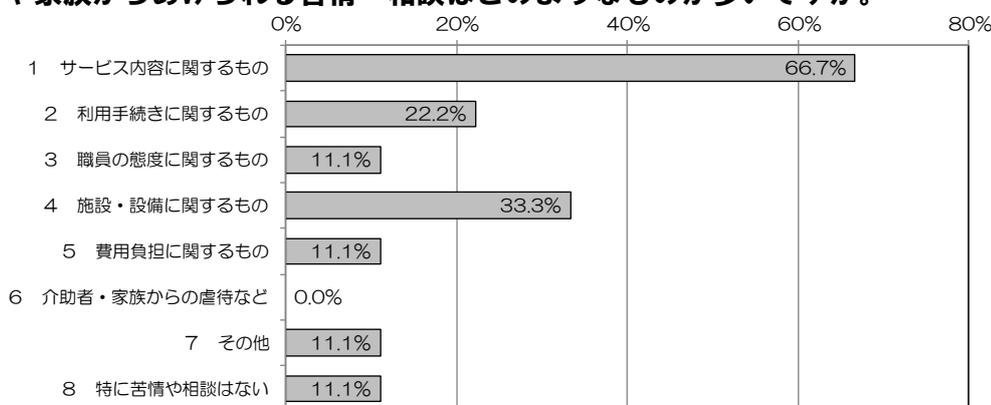


③市全体をみたときに、不足していると思われるサービスや支援はどのようなものでしょうか。また、それらのサービスや支援が足りていない原因は何だと思われますか。

社会福祉法人 パレット・ミル	生活を支えるサービス（GHなど）ハード面、ソフト面、資金面すべてをほぼ法人単独でやっていかなければならないこと。（行政等の支援がほしい）
しがなんれん作業所	難病患者への情報 難病患者の方に難病患者が働いている場所がある事（栗東市）をもう少し伝えて行きたいと思えます。
社会福祉法人 なかよし福祉会	栗東市主体の相談支援事業所 栗東市の障がい福祉計画とするならば、やはり栗東市か市内の事業所が主体となる方が、掌握、把握ができると思えます。
社会福祉法人 しあわせ会	ショートステイ ショートステイ利用の目的が多様化し、重要が増えている。

栗東市デイサービスセンター	全体的に介護保険サービス、高齢者サービスと比べサービス量、種類共に少ない うえ、必要な情報が少なく伝達不足を感じています。 ・事業間の横の連携やそのとりまとめの力不足 ・総合的に相談を受けられる場の周知不足 ・選べるサービスが限られている。
湖南ホームタウン	重心医療を必要としている方のサービス、SS、日中一時は特に急務
特定非営利活動法人縁活	・相談支援 サービスの不足 ・短期も含めての入所施設、生活介護事業所 ・相談支援専門員の人手不足、 ・入所施設による総合的な支援をするための人手不足、資金不足が大きい。
蛍の里	・暮らしの場（住まい）の不足、（入所、グループホーム） ・日中活動の場の不足（養護学校卒業生の数が増） 湖南圏域の各氏の障害プランをすり合せて共通の課題等協力のもと障害者のために施策展開してほしい。

④利用者や家族からあげられる苦情・相談はどのようなものが多いですか。



2. 今後の障がい者施策に求めるものについて

①障がいへの理解と交流について

しがなんれん作業所	・ボランティアセンターより現在2名の方と民生委員さんより2名の協力を得ています。 ・今後地域の交流ふれ合いの場として数か月に一度作業所を開放して交流の場を作って行きたいと考えています。
社会福祉法人 しあわせ会	家族、支援者の高齢化が進んでいるが、サービスの利用や、家族以外の人に協力を依頼したり相談することに慣れておられず、ぎりぎりまで自分たちでなんとかしなければと思っておられる方が、特にご年配の家族に多いと感じる。そうした家族も含めて支え合い、孤立化を防ぐためには、地域の方々のネットワークや力が必要となり、つながっていくための策が必要だと思う。
栗東市デイサービスセンター	当事者団体や関係者だけが参加するものでなく広く、交流できるものをつくりあげていくようにしては・・・
特定非営利活動法人縁活	栗東レススポが31回と続いている大会をより多くの方々に気軽に楽しみ、交流、ふれあいの場にしていくこと、フェスに近いレクスポへ作業所のモギ店等していくこともボランティアも関わりやすくなる。
特定非営利活動法人くりの木会	※地域での年3回の清掃作業 ※地元及び近隣地区でのふれあい祭りに参加（職員・利用者共々） ※クリスマス会等に地域民生委員さん・ボランティアさんの参加 ※民生委員勉強会等への参加

蛭の里	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい当事者団体、事業所による福祉フェアの開催、広く市民に呼びかけ、参加していただき理解を深める機会に、 ・自立支援協議会で地域生活の課題を認識し、各機関での役割の整理。 ・警察、消防署等へ障害者理解のための講習会、 ・福祉体験学習（中、高）、ボランティアのより積極的な受け入れ ・情報の発信（市の広報、社協だより等通じて）
-----	---

②相談・情報提供について

社会福祉法人 パレット・ミル	苦情解決について、市や県に相談しても何の解決もなされない等の話をきくのですか。
しがなんれん作業所	難病患者の方への情報発信をお願いしたいと思います。
社会福祉法人 しあわせ会	窓口に行く、出向くことが難しい状況や、情報を自ら得ようとする力のない世帯などが見落とされることなく、それぞれの状況に応じた方法で、情報が得られるよう気をつけたいと思う。
栗東市デイサービスセンター	①ともかかわるかもしれませんが関連事業者へはもちろんのこと一般市民等へも地域交流やふれあい事業、行事を通して、相談体制や制度等の周知情報提供を積極的にしていってほしいように思います。
湖南ホームタウン	ワンストップ、総合相談窓口の必要性
特定非営利活動法人 縁活	作業部会ができたので、そこからの情報発信を自立支援協議会（情報提供の会議としての役割を！！）でしてもらおう。その時に、その他の意見はマイクを持って外参加の方々に今の情報（事業所の）を伝えてもらう。
特定非営利活動法人 くりの木会	※苦情相談等に対する、第三者委員を設置
蛭の里	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスを利用するにあたり、サービス等利用計画が必要です。特定相談（計画相談）支援事業所が不足している現状を市行政としてしっかりと対応を講じていただきたい。各市バラついた対応・・・しむん（障害者）が困らないように福祉サービスが受けられなくなることへの回避換算がとれる報酬でない、市の相談員の人件費の積み上げをしていただきたい。 ・蛭の里で特定相談支援事業所の開設（H26年8月）

③保健・医療について

社会福祉法人 パレット・ミル	歯の健康は全身の健康の基となるので、歯科健診への補助金体制を整備していただきたい。（他市共に）
社会福祉法人 なかよし福祉会	マル福が軽度の障がい者が支給対象外となった事から以前と同程度あるいはそれに近い受診を希望している方が受診できなくなったことから、混乱される方が非常に多い。また、適切な受診（家族の支えや認知能力の問題）が困難な方がいます。
社会福祉法人 しあわせ会	要支援家族にとって、訪問で、指導や医療が受けられる体制は欠かせないと思う。また、入院時の受け入れ体制がとれなかったり、家族での見守り看護が難しい場合など受ける必要がある医療が受けられるようサービスが整備されると良いと思う。
栗東市デイサービスセンター	早期発見から療育、各サービスへの引き継ぎなど、とぎれることのないよう各機関の連携や情報共有など、単独でかかわっていくのではなく関連団体のチームとして関わっていけるような仕組みができるとよいのでは・・・
特定非営利活動法人 くりの木会	<ul style="list-style-type: none"> ※専属医との連携 ※週3日の看護師配置及び、残り2日の訪問看護支援（作業所へ）
蛭の里	<ul style="list-style-type: none"> ・入所利用者の高齢化、重度化への対応が課題、特に要医療の利用者への支援体制づくりを講じたいが→法人だけでなく他の機関との連携が必要。 ・看取りの問題等もクローズアップしています。 ・医師無配置の問題（嘱託医として医師は配置できているが、制度が変わり配置できない状況になりうる。（現に県内の障害者支援施設では無配置医に減算をうけている事業所がいくつかある現状）

④教育・保育について

湖南ホームタウン	教育だけではないがインクルーシブな社会、仕組みに
蛭の里	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスの不足（法人で一ヶ所運営している（守山市）中学校区に1カ所ある。 ・養護学校卒業後、B型事業所へ直に行けないことの解決策を講じていただきたい。就労移行支援事業所の数も少ない状況 期限も迫っています。湖南圏域、県全体での対応を。 ・卒業の長いライフステージを見据えた支援（教育、療育、福祉）の組み立てを（就学時と卒業の人的支援の差を見据えた支援・・・）

⑤雇用・就労について

特定非営利活動法人縁活	土、日を含む、相談窓口があればよい。
特定非営利活動法人くりの木会	<ul style="list-style-type: none"> ※毎日のグループ就労（職員1名・利用者3～5名）・・・農作業 ※施設外就労（毎日2名シフトで、JA栗東市 田舎の元気やへ 3.5時間勤務）
蛭の里	<ul style="list-style-type: none"> ・社会状況に左右されないための障害者雇用政策を。 ・企業の障害者への理解不足の解消、と雇用数の増加の拡大対策（補助金制度充実） ・ジョブコーチの増員、支援体制づくり

⑥住まい・住宅の確保について

社会福祉法人 パレット・ミル	公営住宅をグループホーム等に利用させていただきたい。是非是非！
社会福祉法人 なかよし福祉会	グループホームへの支援 低すぎる
社会福祉法人 しあわせ会	グループホームのニーズは高く、男性用で計画中のホームについては、希望者ですすでに定員がうまる状況です。親亡き後を心配している家族も多く、一法人で整備していくには、追いつかないと思われます。設備等もですが、人材確保も既存のグループホームでは直面している課題の1つです。
湖南ホームタウン	グループホーム、特に重度障害者対象となると必要面積なども広がるため大変
特定非営利活動法人縁活	施設整備費用（100万～150万円）→IH、エアコン等カギ設置等）程の助成があるだけで、事業は拡大が可能になる。
特定非営利活動法人くりの木会	将来的には、グループホーム運営を視野に入れ検討する。（利用者の高齢化に対応するものと、若い世代に対応するものとの両方で・・・）
蛭の里	・グループホーム建設に際し、消防法上の問題（スプリンクラー配備等）、建築基準法上の問題等…クリアしなければいけない、（費用もかさむ・・・）費用負担補助を。

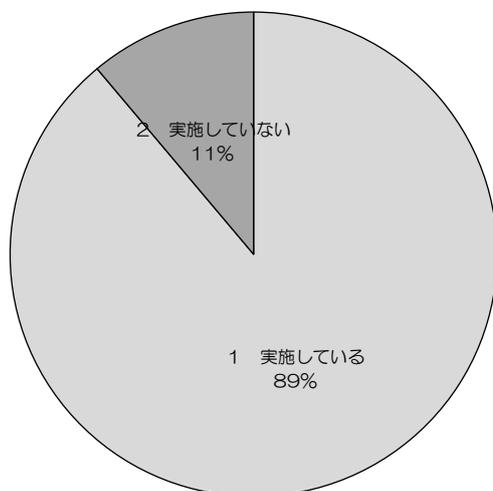
⑦生活環境の整備について

しがなんれん作業所	作業所がとても手狭になっている為、事故などを含めて移転を考えています。それについてお力を貸して頂ける事がありましたらご指導の程宜しくお願い致します。
特定非営利活動法人くりの木会	<ul style="list-style-type: none"> ※基盤整備事業により、作業所内改修（バリアフリー）・エレベーター設置を行う ※利用者増に伴い、リフト車の増車を行う（リフト車4台を含み、合計6台）
蛭の里	ユニバーサルデザインのもと街全体で障害者（高齢、子ども）にやさしい街づくり。

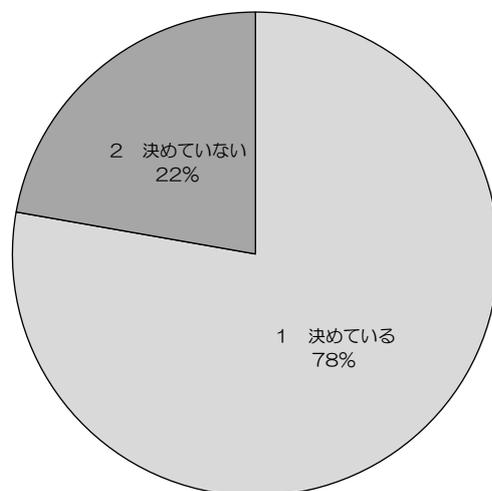
3. 災害時要援護者の避難支援に向けた取り組みについて

① 貴事業所で取り組んでいることについてお聞かせください。

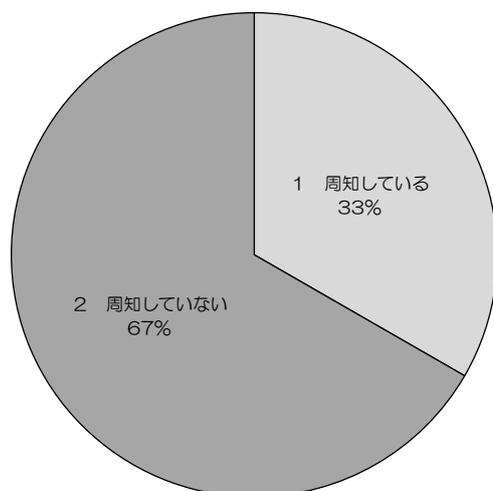
(1) 防災訓練など、防災意識の向上や災害時対策に向けた取り組みを実施している



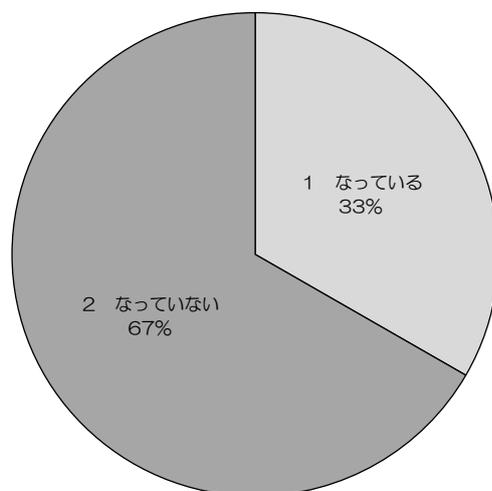
(2) サービス利用者への、災害時における情報伝達方法を決めている



(3) サービス利用者に対して、お住まいの近隣の避難場所を把握し周知している



(4) 災害時の避難などについて、他の団体等と連携を取れる体制になっている



② 今後の災害時要援護者対策についてのご提言などがありましたら、お聞かせください。

社会福祉法人 パレット・ミル	上記(3)(4)についての充実を図るべく、行政からも呼びかけをお願いしたいし、栗東地区障がい者事業所連絡協議会でも体制づくりをしていきたい。
栗東市デイサービスセンター	普段から事業所間の連携が課題というなかで、災害時に事業所間、関係機関が連携した取り組みは難しいと思います。普段からの事業所間の関係づくり連携、要援護者に対する関わり、理解が必要だと思えます。また、それぞれのつながりや関係を中心になりとりまとめる機関、把握しておく機関が必要と思えます。
湖南ホームタウン	守山市とは福祉避難所協定を結んだ
特定非営利活動法人 くりの木会	年1回の避難訓練以外、言葉上の避難ルート、手順等の反復訓練を行う。また、職員間での声掛けを終始徹底する。
蛍の里	福祉避難所の数を増やす(住まいの近くに福祉避難所の設置。)

4. 計画策定にあたりご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

社会福祉法人 パレット・ミル	現実に沿って、しかし、前向きな計画策定をお願いします。又、その計画を実現出来るよう、共に闘える体制を考えていただきたいです。
栗東市デイサービスセンター	計画策定にあたり、障がい者関係の機関や団体がより連携をとり、市内の障がい者に関わる事業や制度改善などに積極的に関わっていけるようになること、計画づくりだけに終わらないようになることを期待します。
特定非営利活動法人 くりの木会	養護学校卒業生が年々増加する中で、当作業所も定員いっぱいでは受け入れ不可能。しかし、仕事に於いては皆さんの協力、支援のおかげで少しずつ増える傾向にあります。しかしながら、作業所も飽和状態で、車椅子、片麻痺等の利用者のことを考えるとスペース的に全く余裕がありません。今後の事を考えると、新たなサービス提供場所が必要です。どうか、協力の程よろしく願い申し上げます。